

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. 社会福祉法人として、利用者の満足を追求する

- 1) 利用者個々のニーズを踏まえ、個別援助計画に基づきサービスの質を高める
- 2) ご家族、地域の方々にご協力を得て、外に出て季節感を味わっていただく
- 3) 安心かつ安全にお暮しできる場を提供する

- ・インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症予防を徹底する
- ・「地震」「大雪」「強風」火災およびさまざまな危機管理を想定した訓練を実施し、意識啓発を高める
- ・老朽化した設備を整備する（入浴機器・電話設備等）

2. 社会福祉法人として、家族支援・地域支援の拠点となる

- 1) 地域の拠点としての役割を發揮する
 - ・包括・居宅を窓口施設全体で地域の相談を受け、特養を母体とした短期入所・通所介護・総合事業・訪問介護・介護予防事業等と連携し、具体的なサービスの提供を行う。
- 2) 認知症対応を拡充する
 - ・認知症介護実践者研修への計画的参加及び施設内伝達研修の充実。
 - ・認知症サポーター養成講座及びささえ隊ネットの活動促進。
- 3) 地域包括支援センターの取組み
 - ・地域を守る社会福祉人として、併設の特養・サービスセンターと連携して、地域課題の発見解決に取り組む。

3. 社会福祉法人として核となる職員の定着・安心を実現する

- 1) 業務分析を踏まえ、常勤・非常勤の業務分担を明確にし、効率よい働き方を目指す。
- 2) 精神的ストレス軽減に取り組む
 - ・職員同士がなんでも話し合える環境を整備する（ハード面・ソフト面）

4. 社会福祉法人としての経営体制を確立する

- 1) 府中市の指定管理者として地域の適切なニーズ把握を行い、更なるサービス向上に向けた取り組みを実施する。
- 2) 地域包括支援センター、居宅支援事業所、各サービス事業の情報交換を密にし、経営資源として活用しその効果を地域に還元する。
- 3) 事業単位での収支を意識し、目標利用率の達成を目指す
 - ・30年度介護報酬改訂を踏まえ、加算取得等の検討をする

施設の取組

専門職の専門性を發揮し、個々の力を連携することにより、「快食」「快眠」「快便」をはじめ、利用者の快適さを踏まえる。またより安全かつ安心できる対応を行う

- 1) 看護×介護×食事により質の高い口腔ケアに取り組む
- 2) 入浴機器の改修を契機に、機器選定導入時からプロジェクトを設置し、利用者および職員双方に負担のない「かかえない介護」に取り組む

1. 利用者・職員の安全のため、いざという時の対応ができる力を養う

- 1) 毎月の防災・防犯訓練の実施をし、全職員で危機管理に取り組む

3. 大規模多機能型施設として、施設全体で地域の利用者の福祉拠点として機能を發揮する。

- 1) 毎月の施設内運営会議およびサービス向上会議で情報共有を図る

4. 内部管理規程を踏まえ、各事業の状況を毎月の運営会議で点検する

5. 法人内施設と連携し、福祉機器やOAの導入に取り組む。

